

- ・ ぼちぼち山業運営チーム
- ・ 移住者を中心とした季節ワーカー
- ・ 広葉樹を活用した製品づくりをしたい人
- ・ つくった製品を取り扱ってくれる店舗

山林資源を活用する人が少ない

1. 町内で山林資源を活用・消費ができています

- ・ 広葉樹のお茶の生産、販売
 - ・ 薪の生産、販売
 - ・ 黒炭の生産に向けた窯づくり⇒販売へ
 - ・ 木質チップの生産販売ルートの検討
 - ・ おが粉を町内利用へ
 - ・ 広葉樹を活用した家具や雑貨など製品づくり
- ⇒ 地域内で買取・加工をすることで原木の取引価格向上へ。商品づくりから販売までを担う地域商社をめざす

- ・ 手つかずの山の減少
- ・ 町外から購入しているエネルギーを町内から購入することができる
- ⇒ 地域経済の活性化
- ・ ぼちぼちで山業に関わることで山業以外の産業の人で不足も解消へ
- ⇒ 山を取り巻く課題から町が抱える他の課題の緩和へ

ありたい未来

持続可能な森づくりから
持続可能な地域づくりへ

対話ができる場
きっかけづくり

大月未来会議
町民
役場職員
議会議員

ぼちぼち山業で豊かな生活スタイルで暮らしている人を増やす

1. 町内で山林資源を活用・消費ができています

2. 山業の担い手が増えている

3. 施業地の確保と持続可能な森づくりの啓発活動

3. 施業地の確保と持続可能な森づくりの啓発活動

- ・ 山主さんの情報をまとめる
- ・ 山主さんへ小さい林業の理解向上
- ⇒ 施業希望する山主さんは山師へつなげる
- ・ 親も子も、山に関わるきっかけづくり
- ・ 施業前と施業後の山・植生など変化の調査

2. 山業の担い手が増えている

- ・ 自伐型林業、黒炭の製炭、運営チームがロールモデルとなり、いくら稼げるのかを具体的にし、広報をする
- ・ 現場で木を伐る、お金にする研修を行う
- ・ 山の仕事に対して子どもが親しみを持てるようにする

- ・ ぼちぼち山業運営チーム
- ・ 山主さん
- ・ 町内山師さん
- ・ 近隣市町村山師さん

山はお金にならないという考えが根強い

山の手入れについて知らない山主さんが多い

山の境界線を知らない山主が増えている

山の仕事はお金にならない

山に親しみが
ない人が多い

山林資源を活用し課題の緩和へ

2024年度
原木買取・薪の販売スタート
目指す地域の姿がクリアに、取組がより具体的に

2023年度
広葉樹の活用について実証実験をする
広葉樹のお茶里海茶販売開始

2023年3月：大月町がゼロカーボンシティ宣言
⇒ 2050年に排出二酸化炭素0を目指して
2030年までの行動目標を立てる

2022年度
地域資源・課題の洗い出し、ありたい未来の設定、
仲間集め、事業のタネを考える

- ・ ぼちぼち山業運営チーム・中間支援
- ・ 近隣財団法人
- ・ 高知県内で山の活用を提案するNPO法人
- ・ 自伐型林業に興味のある移住希望者

担い手
ステークホルダー

成果

取組・状態

地域資源

課題

